

当別水物語

当別ダム

当別浄水場

当別ダムからの受水へ

来年4月から水道水の供給を開始する石狩西部広域水道企業団の施設建設が急ピッチで進んでいます。これらの水道施設の建設には多額の費用を要するものですが、札幌市をはじめとする3市1町で運営する「石狩西部広域水道企業団」に参画することで、建設などにかかる費用の軽減に努めています。元町浄水場は40年近くが経過し、老朽化もかなり進んでいます。来春からは当別ダムを水源とし、最新の高度浄水処理技術を導入した新しい“当別浄水場”の水が供給されます。

①石狩西部広域水道企業団
当別浄水場管理本館



札幌ドームのおよそ3個分の敷地面積を持つ企業団の当別浄水場は、当別ダムから取水した水を浄化・消毒し札幌市、石狩市、小樽市、当別町へと水道水を供給します。1日34,164 m³の水道水を作る能力は、現在の元町浄水場の約5倍にもなります。

②当別ポンプ場



当別浄水場の下流約11 kmに位置し、流量の調節、水質・水圧の監視等を行い、当別町の配水池に水道水をポンプで圧送しています。

③当別町配水池



配水池は町が整備し配水量を調節する施設で、受水した水を一度溜めてから、各家庭に送水します。平成20年度に耐震化された配水池が新たに増設され、配水池の合計容量も2倍となり、災害等の異常時にも、断水を軽減することができます。



☆現在当別ダムではダム本体や周辺の安全性と機能検証を行うため、水を溜める試験湛水を実施しています。ダム本体の北側に堤頂広場が整備されていますので、足を運んでみてはいかがでしょうか。

担当 上下水道課業務係 (☎ 22 - 2411) HP <http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/sogo/keikaku/suido/>